

メディアに親しむ活動にはどのようなものがあるでしょうか。

保育でのメディア活用で最初に取り組みやすいのは「メディアに親しむ」活動です。

例えば、子どもがパソコンでお絵描きする、デジタルカメラを持って園庭の中で子どもが興味をもったものを撮影し、発表会をするという活動例がたくさんあります。キーボードを扱わなくてもできる活動なので、文字がまだ分からない子どもにとっても楽しく取り組むことができます。

メディアで遊ぶ環境をつくる

また、幼児用のパソコンソフトではクリックをはじめとしたマウス操作になじんだり、パソコンでお絵描きを楽しむ描画用ソフト、マルチメディア絵本ソフトなどがあります。このような幼児用のパソコンソフトの多くは、マウスのクリック操作だけで楽しく遊ぶことができます。保育現場では、友達と一緒に考えたり話したりしながらソフトで遊ぶ環境を構成することで、楽しくメディアに親しむことが可能です。

このようなメディアに親しむ活動は、園によってさまざまな環境の構成が考えられます。保育室に1台のパソコンを順番に使う方法もあります。画面をプロジェクタやテレビに投影すればみんなで見て楽しむこともできます。

また、デジタルカメラも、1人に1台ずつでなくても、グループに1台という形態で楽しむことも可能です。一斉保育の中で活動を計画している例もあれば、自由遊びの教具の1つとして興味がある子どもに使用を許可している例もあります。

テレビ番組の視聴も、保育現場ならではの活用法があります。遠足をはじめとした園外保育、また、園でのさまざまな行事への興味や関心を深めるために、関連するテレビやビデオをクラス全員で視聴することが考えられます。保育者がメディアを活用する姿を子どもが見て自分たちも使ってみたいと思い、メディアに親しむ活動が始まるのです。



幼稚園教育要領 第2章 ねらい及び内容

健康 (4) 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。

環境 (7) 身近な物や遊具に興味をもってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。

保育所保育指針 第3章 保育の内容 1 保育のねらい及び内容

健康 (イ) ④様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。

環境 (イ) ②好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。

④生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心を持つ。